

はたはた

八峰町教育長 千葉良一書

Vol. 5

八峰町関東ふるさと会 会報

2014年10月発行



峰水湖 水沢川上流

八峰町関東ふるさと会

「6年目を迎えて」

八峰町関東ふるさと会会長 神馬 信一



会員の皆様には益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

当会は、この11月で6年目を迎えます。この間、会員の皆様方のご理解とご支援を賜りありがとうございます。

又、平素より当会の運営に対して、多大なるご厚誼にあずかりました八峰町はじめご支援いただいた皆様方にお礼申し上げます。

さて、どこのふるさと会でも共通の悩みである少子高齢化が進んでいる中、いかにして若い会員を増やしていくかが急務であります。この5年間を振り返ってみると、総会の参加者アップに具体的な行動が少なかつたことを深く反省しております。6年目を迎えるにあたって、先ず年1回の総会・懇親会の場を、同窓会やクラス会に利用できるような雰囲気作りをしていけば、相当な出席率が期待できると考えます。

又、会報誌「はたはた」や町の行事である成人式・還暦・古稀を迎える方々にふるさと会の活動を積極的にPRしていきたいと思っております。さらに若い世代の方をはじめ、幅広い年代の方々にふるさと会の運営に携わっていただけるように、働きかけをしていきたいと考えていますので、ご協力よろしく願います。

ふるさと会では、秋田県や八峰町が主催の催しに、微力ながらお手伝いをさせていただきますが、その中から一部を紹介させていただきます。

秋田・鳥取両県のはたはたを首都圏の

方々に美味しさをPRするため、今年で3回目となりますが、築地本願寺広場で11月末の2日間「秋田・鳥取うまいぞ！はたはたフェスティバル」を行なっています。一昨年は来場者1万人を見込んでいたところ1万3千人と大盛況でした。昨年は来場者数約1万9千人を迎えての新企画として、両県から6店づつ計12店のメニューを出店し、「HATAHATA A・I グランプリ2013」を決定することであった。

来場者は、気に入ったメニューに割箸で投票して、その割箸の総重量で競った。「さかなくん」を迎えて大盛況の中、八峰町がみごと初代王者になった。

優勝した「八峰町しょつつる鍋」は、同町で水揚げしたはたはたをはじめ、松岡食品の豆腐、峰浜ネギを具材に、味付けは地場のはたはたで製造した「しょつつる」を用い「オール八峰町」、調理はふるさと会で仕上げました。二位は鈴木水産のはたはた入りメンチカツ、三位は県南のはたはたをトッピングしたうどんが選ばれ、秋田県が3位まで独占した。はたはたは、秋田県の魚に制定され、民謡秋田音頭でも歌われているように、八森はたはたの面目を保つことができました。今年も11月29日と30日の2日間予定しています。お近くの方は是非お出かけ下さい。

最後になりましたが、会員並びに八峰町の皆様方のご健勝と、八峰町の益々の発展を心よりご祈念申し上げます。

町の話題

八峰町長

加藤 和夫



八峰町関東ふるさと会の皆様には、ご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。又、日頃は、ふるさと八峰町へ熱い想いを寄せて頂き、深く感謝申し上げます。

私事で恐縮ですが、四月に八峰町長選挙が行われ、引き続き町政を担当させて頂くことになりましたのでこれまで以上のお力添えをよろしくお願い致します。

それでは折角の機会でありますので、町の話題等について少し報告させていただきます。

はじめに、ふるさと納税であります。この制度は、平成二十年度から実施してまいりましたが、現在、総務省では、手続の簡素化や控除額の引き下げ等、より利用しやすい制度改善に向けて検討がされております。

当町の場合、制度開始から平成二十五年度までの累計で、ふるさと会員を中心に百六人の方々から総額七百三十九万八千円を寄附して頂きました。

町では、これを全て基金に積み立ててまいりましたが、地域活性化のために役立たせて欲しいとの意思を大切にしながら、具体的にどのような施策に活用するか検討したいと考えております。

また、これまでは、寄附して頂いた方々の善意だけ受けてまいりましたが、今年

度から一万円以上寄附して頂いた方々に、町の特産品を差し上げることになりましたので、今まで以上のご利用を期待しております。

詳しい内容については、町の広報やホームページをご覧頂きたいと思っております。

次に、今年、第二十九回国民文化祭が秋田県で開催されました。

八峰町の種目は、十月十二日と十三日「秋田白神こどもの俳句フェスタ」でありました。

これまで、水沢小や埴川小を中心に全国レベルの俳句大会でも入賞する実績を挙げてきたこともあり、このフェスタを企画したところであります。

この大会を通して、白神山地や八峰白神ジオパークをテーマに全国のこども達と交流し、一層のレベルアップに繋がったと思います。

又、同じ日程でポンポコ山を会場に「はつぼうんめものまつり」のイベントが開催されましたが、国民文化祭と同時開催したことや、連携している国道一〇一号線観光連絡協議会等から数多く出店があり、今年も、賑わいを創り出すことが出来ました。

この国民文化祭には、首都圏の県人会からも秋田を大々的に宣伝して頂いた他、十月四日の開会（）ら六日まで団体で秋

田入りし、五日には、八峰町内を巡って頂きました。

もう一つの話題は、八峰町の特産に養殖アワビが加わったことです。これまで、夏期間限定の天然アワビよりありませんでしたが、旧八森小学校に白神水産株が、養殖アワビを開業したことから、通年を通してアワビ料理を提供できるようになりました。

昨年、商工会と観光協会が連携して町内の宿泊施設や飲食店に呼びかけ、アワビ料理を提供出来る所から創作したメニューを出品して頂き、審査の上、提供店に認定してまいりましたが、これまで十二カ所でアワビ料理が提供されています。

毎年、八月に行う商工会主催の「アワビの里づくりまつり」も年々賑わいを見せており、アワビをハタハタや椎茸、梨等とともに八峰町の特産に育てたいと頑張っております。会員の皆様も、帰郷の折は、是非、八峰白神育ちのアワビをご賞味して頂きたいと思っております。

わが八峰町も早いもので来年には、十年目に入ります。町民の力を結集し、更なる町の前進を目指して頑張ってまいりますので、八峰町関東ふるさと会のご支援をよろしくお願い申し上げます。

結びに、会員皆様のご健勝、ご多幸、ご活躍をご祈念申し上げます。



アワビの稚貝の放流風景

議会という立場から

八峰町議会議長 芦崎達美



4年に一度のワールドカップがブラジルで開催され、前回に続き我がジャパンイレブンもアジア大会を勝ち抜き、本大会に出場することができました。期待されたものの、結果を見ますと予選リーグを突破できなかったことに、改めて世界との実力の差をまざまざと見せつけられました。今後に期待したいと思います。

さて、今年の春に議会議員の改選がありました。4年に一度の審判を受け、八峰町議会議員の顔ぶれも大分変わっております。2名の定数削減で12名となり、常任委員会も総務民生、教育産業建設の2委員会となりましたが、小数精鋭で頑張る所存でございます。ふるさと会の会員皆様の変わらぬご厚情をよろしくお願ひする次第です。

古来より縁起の良い動物とされておる「午」年は、皆様にとつて如何な1年となってきたことでしょうか。4月の消費税増税の影響を受けて、消費が少し鈍ってはいるものの景気回復の兆しが秋田県にも少し始めている感もあります。

2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されますことには、多くの国民が期待と喜びで心がはずんでいくことでしょう。身近にいるふるさと会の会員皆様には、是非応援をしていただき盛り上げていただきたいものと遠く八

峰町より願っております。

我が国の大イベントに向けて、日本の景気回復に拍車が掛かることを期待するところで。

当八峰町におきましては、5月31日に二ツ森の山開きを行い、6月8日には、ブナ林の植栽、7月に入って鮎釣りの解禁、7月18日には海岸の海開きと、自然に恵まれた八峰町の山・川・海の行事、秋には恒例の「んめものまつり」等イベントが今年も賑々しく行なわれ、まると八峰自然を展開してきたところで。

来る11月16日に第6回八峰町関東ふるさと会が開催される予定と伺っております。八峰町議会としましては、顔ぶれが変わったこともあり、全員参加のもと、ふるさと会の皆様にお会い出来るよう検討しております。実現できたその時には、会員の皆様と深く懇談し、親交を温めたいと願っております。世界に冠たる大都会「東京」の日々の仕事に奮闘されている皆様方に敬意を表します。

今後も、ふるさと会の支援を仰ぎ、都市と地方の交流を深め、八峰町発展のため共に頑張る所存です。ご尽力いただければありがたく存じます。

最後に会員皆様のご健勝と関東ふるさと会の益々の繁栄を祈念して挨拶とします。

舞う

半田百合子(神奈川県厚木市在住)
(中浜出身 旧姓 藤井)



緑を揺らす初夏の…、心地好い風にふれると、日本舞踊を習い始めた頃(三十五歳)を懐かしく思い出します。紆余曲折もありましたが、どうにか三十八年の歳月を積み重ねることが出来ました。日本舞踊の、あの艶やかな美しさに魅了されて入門したのですが、その美と稽古の厳しさには、さすがにたじろぎました。

何よりも苦しかったのは、慣れない正座をして、二時間近くも稽古の順番を待たされた事です。今思い返しても、身震いがします。どうにか足の痺れにも耐えられる様になった時、師匠から初めて舞台で「舞う」ことを許されました。

ふと、思いがよぎるのは、幼かった頃のふる里の、あの「夏祭り…!」です。私は青年団のお兄さんに負んぶされ、「赤城の子守唄」の勘太郎役で舞台に出ました。眩しいライトの光で目を覚まし、眠い目をこすり、客席を見渡した記憶が、何故か今でもはつきり残っています。

人生の出会いには、本当に不思議さと面白さを感じさせられます。寄る年波に抗しきれずに、踊りを諦めかけた頃がありました。

その様な時でした。若き!、前途有望視されている現在の師匠に、偶然にも巡り合うことが出来たのです。あれこれと面倒を掛ける老体に、時に労わり、時に

は舞台で一緒に舞って励まして下さいました。お陰様で、新たな希望を、目標を見出す事が出来ました。何という幸せ…でしょうか。

私を生み育んでくれたふる里!。そしてあの賑わいの夏祭り!。過ぎ去りし日々、唯唯、感謝の思いでいっぱいです。

ふる里の 想いとときめく 夏祭り
舞いに舞いたし 八十路すぎても



半田さん(左)と師匠(右)

懐かしく貴重な体験

唐澤

好文(神奈川県相模原市在住)

(中浜出身 旧姓 山内)



今から十七年ほど前の、平成九年頃の懐かしく貴重な体験談です。

私は、某住宅メーカーから関連会社に出向して、特急寝台列車の製造に従事しておりました。JR西日本・JR東海の二社が運営する特急寝台列車「サンライズエクスプレス」の内装製作です。内装材は当社が樹脂メーカーと共同開発した、Mウッドと称する木粉を樹脂の原材料にまぜて作製する、木の風合いと香りがする樹脂の内装材です。現在ではあまり珍しくありませんが、当初は木くずのリサイクル利用と不燃性基準を満たした画期的な内装建材として注目を浴びたものです。

その特急寝台列車は東京駅から西に走り、岡山を基点として左は四国の高松駅に、右は島根の出雲駅を目指して運行しています。その時の製作体験から学んだ「目からうろこ」的貴重なことを紹介しておきたいと思います。業界が違えば、「非常識も常識なり」「常識も非常識なり」ということを学びました。たくさんある中で、特に衝撃を受けた事を3点ほど紹介します。

第一は、製造物の許容誤差範囲のことです。我々建築業界の常識では、許容誤差範囲はミリ単位ですが、電車の製造業界での許容誤差範囲はセンチメートル単位であったと言う事です。また、直線で

の構成の建築物と違い、電車製造には曲線構成が入ります。この誤差と曲線構成には、寝台ベット・間仕切り壁等の内装製作で非常に苦労しました。我々の準備したベット・間仕切り壁等は、誤差がミリ単位の製作物だったからです。結果は、隙間用ゴム材料を探して、隙間を埋めることによって解決した次第です。

電車の製作は、車輪の上に車輪台を乗せて、またその上に割りとか大雑把な(失礼!)ドア・窓などの開口を開けた電車の躯体を乗せるわけです。そして、その割とか大雑把な開口を採寸して、ドア枠とドア又は窓枠と窓ガラス等を製作しました。したがって、電車という製造物は非常に時間と手間のかかる一品生産物でした。同じ仕様の電車でも高さ・長さが5cmから10cmの違いがあります。ただし、電車幅については電柱・プラットホーム等の関係から1cm前後の誤差でシビアでした。

第二は、電車製造業界の人工代のことです。我々の作業に遅れが出た時に、車両製造メーカーに応援を頼んだときのことです。なんとびっくり、時間5千円で一日8時間で4万円ということでした。建築業界では、大工さんの人工代が一日せいぜい2万円から2万5千円の時代です。建築業界でいえば、お寺や神社に従事する宮大工(クラスの人工代にな

ります。

電車の製造は、近畿圏の川崎重工・近畿車輛と中部圏の日本車両の3ヶ所の車両メーカーで製造したわけですが、車両業界が特殊でまた製造競争があまりない業界のゆえんかと思われました。

第三は、車両メーカーの工場敷地があまりにも広く大きいのにびっくりしました。自動車・家電製造の工場も見学したことがありますが、それ以上の工場敷地でした。さきほど触れたように、車輪・車輪台・電車躯体が完成すると内装と開口部。他部品の取付に入るわけですが、その製造電車が、この広い敷地を半日から二日単位で移動してしまうような流れ工程になっており、最初は面食らいました。

製造電車は一品生産であり、電車の製造工程に合わせて取付部品等がある場所に線路を利用して移動してしまうわけです。したがって、我々は内装取付部品を移動しながら、蟻がなにかに群がるように取付する電車を毎日のように追いかけることになります。私は、JR西日本・東海と車両メーカー3社との窓口業務担当でしたので、工程会議等で遅れがでるたびに謝罪をし、最初の1ヶ月間は睡眠時間が5時間ほどでした。今思い返すと、苦しくても懐かしい貴重な体験をしたと思っています。

先日テレビで、人気電車のベスト20という番組をやっています。この「サンライズエクスプレス」が13位にランクされ、紹介されていました。出雲大社は「縁結びの神」であり、この電車は木の風合いのある寝台列車なので、若い女性客に人気があるそうです。

出雲は、現在高円宮様のご結婚でにぎわっておりますが、飛行機で羽田空港から出雲空港まで約1時間20分で、特急寝台列車だと東京駅から出雲駅まで約12時間かかります。時間に余裕のある方は、一度ぜひ乗車して出雲に行ってみてください。私も、近々時間を取って家内と試乗以来の乗車をしようと思っております。



(写真提供 JR西日本)

七十の手習い

風間

桂子(東京都小金井市在住)

(目名瀧出身、旧姓 柴田)



玉川上水川が流れ、都立小金井公園、ゴルフ場、学園があり、春にはうぐいす、夏はせみの声と緑豊かなこの地に住んで四十六年、仕事を続けながら子供を育て、夫の病気といういろいろありました。

年を重ねる毎に物忘れをするようになり、不安になった三年前から市の高齢者センターで、年令も出身地も違う十七名のメンバーが週に一度、若い指導委員のもとで、計算、クロスワード、パズル、記憶力、そしておしゃべりなど、和気藹々と楽しい時間を過ごしています。

月に一度「コピックアート」といって、昔の思い出の写真等をパソコンで線画にして、特殊なペンで色づけをして自分なりの作品に仕上げていきます。三人の先生が指導してくれます。いつもにぎやかな教室も、この時間はそれぞれ昔を想いながら静かに筆を走らせています。

年に一度は作品展示会が市民センターで行なわれます。私は今年三点出品しました。その中のひとつは古希を迎えた年に同級生達とバスで十二湖へ向かう途中カメラにおさめた海岸を描きました(写真参照)。

海を描いていると、小さい頃母の引くリヤカーに乗って母谷山のふもとから帰る途中、真つづくにのびた水平線に大きな真つ赤な太陽が今将に沈もうとしている。



岩館海岸(風間さん作品)

る。海面はキラキラ眩しく光り、黄金色した稲穂の上を無数のトンボがこの瞬間を楽しんでいるか、惜しんでいるのか、上に飛んだり、下へ飛んだり、あの光景が目には浮かんできません。

もし、ひとつ願いを叶えられるなら、もう一度母といっしょにあの夕日を眺めてみたい。

今は来年の出品にむけて大好きな花を描いています。

七十才の秋に

藤本 カツ子(秋田市在住)

(岩館出身 旧姓 石嶋)



昨年七十才の誕生日が過ぎた頃、これが最後かも、後はないかもと悲観的な考えに陥り、我ながら年を取ったと強く感じていました。そんな時、ふるさと会と同期会への誘いが有り、東京へ行くのもこれが最後かもしれない、今ならまだ多少同期生の方々に面倒かけるかも知れないが行けると考え、思いきって出席する事にしました。全く他人の事はさて置き、自分の楽しみだけ考えて。でも行つて本当に良かったと思えました。初めてのふるさと会でしたが、とても懐かしい先輩や、思いがけず姉、兄、弟と兄弟四人顔を合わせ、まるで実家へ帰った様でした。古里に住む者も都会で暮らす人も、日頃の距離の遠さや過ぎた時間の長さを忘れ、郷土の料理やアトラクションを楽しみ、話に花を咲かせている光景はすばらしく有意義な一時でした。各界で活躍の方々や、一所懸命会を盛り上げ、進行に汗を流している幹事さんを見て、我が故郷も捨てたもんじゃないなと誇らしく思い、胸がいっぱいになりました。

その夜の同期会は更に楽しいものでした。一気に中学生に戻り、大いに羽目を外し、語り合い、笑い、飲み、これぞ同期会の良さです。ホテルから苦情が出る程賑やかな夜でした。翌日は東京見物です。田舎者の私は、ただ必死に友達の後

を追いかけて歩くだけで、時々迷子になり幹事にはとても迷惑をかけました。つくづく都会に住む友の若さと逞しさに感心して帰りました。それでも写真やテレビでしか知らなかったスカイツリーを目の当たりに、改めて人間の偉大さを思い知りました。浅草寺の新調になった大提灯も見ることが出来ました。そして、どうにか次の同期会と誕生日を迎えられそうです。生かされている事に感謝の日々です。



同期の方々と

故郷の変貌

山田 秋夫(埼玉秩父市在住)
(大信田出身)



出身の大信田集落を離れて五十年の月日が過ぎた。東京オリピックの翌春に金の卵と持て囃され、集団就職で上京してから半世紀、走馬灯の如く、思いが駆け巡る。節目毎、帰郷を果たすのだが、その都度集落の変貌には目を見張るものが遇った。

自分達、団塊の世代が生まれて幼少年を過ごした戦後の二十年代から三十年代のころ、五十数戸の大半は稲作農家で、家々の裏は畑が耕され、茅葺き屋根の母屋には田畑の耕作と肥料作りに欠かせない牛馬の家畜と、土間で仕切られてはいたが、同じ屋根の下での生活と成っていた。毎年、春先には何軒かの茅葺き屋根の葺き替えが、風物のようになっていて、子供達も手伝わされたものだ。便所は母屋の離れに造られ、冬の大雪の時や夜などの排泄は難儀のことで、寒い時期になると木製「オマル」が使われ、土間や便所使用の行き交い等には自家製の藁草履が活躍した。

毎年、冬になると農閑期の北海道から農耕馬、四、五頭が馬方共に集落の民家に宿をとり、雪の積もる三ヶ月ほど、切り出された埴川源流域のブナ木を引き、馬鈴を響かせ集落を通る時には、ワラシンド(子供たち)が急勾配のケド脇(道脇)に集まり、一気に登りきる馬、途中

(大信田出身)

で止まり後戻りの馬、個々に鼻頂の馬を応援していた。このような光景も林道が整備され、大型トラックが伐採地の近くまで行くことが出来る様になり、田畑の耕作が牛馬から耕運機に代わり出した同じ頃大信田集落からは道産子の姿を見ることは無かった。映像などで北海道のバンエイ競馬を見ることがあるが、幼き日の冬の一時、懐かしい思い出である。

赤ん坊はエンチコ(揺りかご)で眠り、大人もまた稲藁の芯べい布団を寝布団の下に敷いて、稲藁の匂う布団で寝起きしていた。ワラシンド(子供たち)はパッチ(面子)や玉っこ(ビー玉)、缶蹴りやガツパ(空き缶に紐を通し、下駄のように履く)等、冬にはソリや竹スキー、夏には川での魚捕りや、留め下での泳ぎに興じた。又、集落生徒会では、毎晩、手鐘を鳴らして火の用心当番の巡回、年一、二度の八幡神社境内や参道階段路の清掃と奉仕活動も行なわれた。

ワカジエ(若者)達は、夏場の半年程、北海道に出稼ぎに出て行く。男衆は土木作業、女衆は農作業が主で、冬期、集落に帰り失業保険を受けたり、花嫁修行の和洋裁を習ったりしていた。八幡神社の例祭、鍾馗様、農繁期前のサナブリ休み等の風習も毎年のように行なわれていた。婚礼は農閑期の(場)に自分達の家々で

挙式が挙げられ、花嫁姿を一目見ようと集落中のワラシンド(子供たち)が押し掛けていた。

葬式は土葬で、自宅から墓所までダミと呼ばれる輿に乗せられて埋葬された。小学三年の時に同級生が、六年生のころに下級生が、白装束、合掌の姿で、集落下手の墓場に家族、集落の人々、同級生に送られて埋葬された。

高価な清酒など、お祝い事や人の集まる場が出るぐらいで、隣集落に酒屋が在ったが頻繁に買いに行くことは無かった。来客に、お茶代わりにお酒を振る舞う土地柄となれば「どぶろく」造りが村中に蔓延していた。埴集落に税務署の酒調べ(密造酒取締り官)が来ているとの情報を持たされると大信田の家々では隠蔽工作を施した。功を奏してか摘発を受け、玄関先に赤紙を貼られる家は無かった。

今、路は舗装され、水道も整備された。当時には集落中、一台も無かった自家用車、電話、テレビ、洗濯機、冷蔵庫は皆の家で使われている。生活は近代化され便利になった。裏腹に集落の人口は3分の1程に。これからの大信田集落も、田畑を潤す埴川、八幡神社、山の守り神太平山、集落の上下手に祀られる鍾馗様、集落の真ん中を流れる寺沢の小川、墓所の桜木、そこに眠る御先祖達に見守られながら歴史を刻むことであろう。



ふるさとを後にして六十年

米森 康視(神奈川県川崎市在住)
(石川出身)



第六回八峰町関東ふるさと会の開催お目出度うございます。開催にあたり、会報への寄稿の依頼を頂き恐縮しております。私にと考えてみましたが一言書かせてもらいます。

私が埴川中学校から集団就職して六十年、その間、ふるさと会も最初は高峰会、昭和四十五年頃とその後、峰浜ふるさと会、そして八峰町ふるさと会となり、それはそれなりに特徴のあるふるさと会で、毎回来しみに参加させて頂いております。

私は石川の集落で昭和十三年十二月に生まれ、終戦の年は埴川小学校一年生でした。あの頃の思い出は木造りの校舎、茅葺き屋根の家々、又、四季折々の里山や田園風景等、郷愁での思い出はまさに童謡「故郷」の歌そのものです。兎追いしかの山・・・の思いが深く残っております。まさに三つ子の魂百迄でしょうか？

そして昭和二十九年三月三十一日、東能代駅から埴川中学より集団就職第一期生として三名、沢目中学より二名、計五名が四月一日、あの有名な上野駅に到着して今年で六十年になり現在に至っております。お陰様で元気で毎日過ごしております。振り返ってみますと、この六十年、世の中の移り変わりは私にとって異常とも思ふ出来事がありました。古里では、昭和三十年に埴川と水沢の合併があり、その後は八森との合併。又、数々

の災難もありました。記憶に残るものは、まず石川集落の大火災、そして日本海中部地震、そのときの津波では私の兄や沢山の方達が亡くなり、多くの方々が悲しみ、のどん底に打ちひしがれた事は今でも深く心に残っております。

私が始めて東京に出て来た頃と今の東京ではまさに天と地の差がありました。あの頃は古里に帰る時は上野駅。夜の21時頃汽車に乗り、翌朝の7時30分に東能代駅着の夜行列車で帰る。今はどうでしょうか。新幹線で4時間、飛行機では2時間で古里に着きます。又昭和三十年頃の東京の町では、商店街や地下道では白衣装の負傷した傷痍軍人が何人も座っており、川は悪臭がひどく、こんな所でのように生きて行こうかと心細い思いで一杯でした。今の東京は昔と違って大変綺麗な町となり、地下鉄も網の目の様に張りめぐらされ、田舎者の私にはよく解らなく困っております。

現在私は元気で、自治会等で社会奉仕活動の多忙な毎日を送っております。これも周りの諸先輩方の御指導によるものと感謝の気持ちで一杯です。

今後の八峰町関東ふるさと会役員皆様はじめ会員の皆様をますますのご発展と御活躍と御健康をお祈り致しております。

首都圏秋田県人会連合会だより

首都圏では秋田県出身者で多くのふるさと会を立ち上げています。現在35団体で「首都圏秋田県人会連合会」を結成、活動しています。年一回の総会、講演会、芸能大会、有志による催物を企画して交流を深めています。

今年秋田県内の一大イベントとして「第29回国民文化祭・あきた2014」が、10月4日から11月3日に県内各地で催物が企画されています。首都圏秋田県人会連合会では、首都圏の方々に秋田に行ってもらおうと、昨年の12月7日に銀座パレードを行いました。

スタート地点を日比谷野外音楽堂



として、先導に文化放送の石川真紀子アナが文化祭のPRを努め、高久連合会会長、明石秋田県東京事務所長、橋本五郎さんなど錚々たる方々が横断幕を手に行進。その後方には「なまはげ」「花まる音頭」「西馬音内盆踊り」「ドンパン踊り」等、総勢380名が続き、車道から歩道の人達に、PR用のパンフレットとあきたこまちの入った袋を配りながら銀座から数寄屋橋へと行進。行楽客に對しての啓蒙作戦に自信を得ました。

また1月16日には、秋田県と首都圏連合会が主催する「平成26年度賞詞交歓会」に佐竹秋田県知事、明石国際文化会議事長はじめ、秋田県選出の国会議員、秋田県内の市町村長の来賓を迎え、総勢350名の新年の会でも「国文祭あきた」の成功を誓った。

次にカウント60日前として、「首都圏まつり」を8月5日から10日に銀座8丁目の博物館劇場で開催。秋田にゆかりのある文化人の対談やトーク、「ガモウ戦記」の演劇で首都圏から「国文祭あきた」を盛り上げている。

さらに10月4日の開会式・オープニングフェスティバルには、首都圏の諸団体が300名の大応援団を募集して、秋田入りを計画している。

親睦・旧交を深め大盛況だった

第5回 八峰町関東ふるさと会 **スナツプ**

2013年11月17日(日) 千代田区 於アルカディア市ヶ谷



加藤町長のあいさつ



神馬会長のあいさつ



須藤町議会議長乾杯のご発声



物産販売はホテルスタッフにも人気



仲よし3人組でポーズ



八峰町のお酒「白瀑」で気分も最高



大和撫子勢揃い



いつまでも若く、楽しく



麻里侑加さんと握手でにっこり



久しぶりに同級生と再会



抽選会で会長賞をゲット



カラオケで熱唱



今年も待ってましたきりたんぼ鍋



受付開始早々から出足好調



町の特産品がいっぱい

特典

ふるさと納税に
海産物など
特産品の
記念品を贈呈

ふるさと納税に協力を！

ふるさと納税とは出身地などの地方公共団体を応援する制度です。一般的にふるさと納税と呼ばれていますが、直接ふるさとに納税するのではなく、ふるさとなどの地方公共団体に寄附をした場合に、その一部が個人住民税・所得税から控除される(税金が安くなる)制度で、結果として、その控除された部分をふるさとに納税したのと同じ効果が生じるというものです。

「ふるさと八峰応援基金」の使いみち

- ◎ふるさとの父・母・親戚へ～笑顔があふれるやすらぎのまち～
 - ◎海と山と人が元気に～豊かな自然と共生するまち～
 - ◎これがおらほの自慢～地域の伝統や文化の継承にむけて～
- ふるさと納税(寄附)のお申込みは ①窓口で申込み ②郵便 ③FAX ④電子メールの4つからお選びください。

ご存知ですか？

ふるさと
納税制度



祝!! 峰浜中学校吹奏楽部25年ぶりに金賞を受賞
～全日本吹奏楽コンクール第55回秋田県大会～

広報はっぼうでみる

八峰町の出来事

広報「はっぼう」のお申し込みは

八峰町役場企画財政課まで

TEL. 0185-76-4603 FAX. 0185-76-2113

年間購読 2000円(毎月1回発行)



浜風を受けながら親子で心地よい汗
～第8回シーサイドロードレース大会～



たくさんの拍手に迎えられて～町長選挙後初登庁～



勇ましい掛け声と共に滝つばへ～白瀑神社例大祭～



わっしょい! わっしょい!～水沢地区のお祭り～

町村から日本を元気にする



町イチ! 村イチ! 2014

この「町イチ! 村イチ!」は、全国の町村が一同に会し、それぞれが持っている特産品や観光資源等の“宝”をアピールするため、一昨年からは始まった。現在、日本には市町村合併が進んだ今も、全国に929の町村があります。

今年の「町イチ! 村イチ! 2014」は、1月11日(土)と12日(日)に東京国際フォーラム展示ホールで開催され、町村のイチ押しの特産品の展示販売、郷土芸能の披露、約140体のご当地キャラが皆さんをお迎えして大盛況でした。

今回八峰町からは、石川の駒踊りが有楽町駅前地上広場で披露され、その勇壮な踊りで見物客を魅了した。また物産販売では、お馴染みの品々の展示販売が好評でした。今回初めての試みとして、ハタハタのオイル漬け(缶詰)を試食していただき、それをアンケートにまとめて市場開発の参考にした。



秋田鳥取 うまいぞ! ハタハタフェスティバル

ハタハタ漁獲量全国一位の秋田県と 四位の鳥取県が合同PRイベント

会場では、ハタハタの塩焼きやハタハタずしが振舞われるほか、各ブースではハタハタ料理の試食販売が行われます。又、伝統芸能の秋田のなまはげ太鼓、鳥取の因幡の傘踊りが披露されます。

●秋田のハタハタ=卵を食べる

秋田のハタハタは、秋田沖に産卵しにやってきたところを捕るので、卵(ブリッコ)を持っている。卵はプチプチとして糸を引く。それを「ブリッコ鍋」で食べる

●鳥取のハタハタ=身を食べる

鳥取のハタハタは卵がない。韓国沖で産卵して戻ってきたものを捕るから身が厚く脂が乗っている。鳥取では一夜干しで食べる事が多い。

今年も築地本願寺で11月29~30日に開催されます。
八峰町「しょつつる」で待ってるよ!



初代王者八峰町と3位まで秋田県が独占した



出店には行列ができるほど



昨年は19,000人と大盛況でした

ご来場のみなさまへ、笑顔の「おもてなし」でご案内。

能代市新山前 建学会 好評開催中!

ウッドデッキ&フェンスで
6番目の部屋を実現!



和と洋が調和した
一度見たら住みたくなる家



木炭&ひば&珪藻土パワ-!

家がなるなる
車庫の大王

<http://www.takajuu.co.jp>

110年は時の流れを超えた絆です

高田住宅工業株式会社

ISO9001:2008取得 顧客の要求を満足させる品質を確保し、社会に貢献する

宅地建物取引業 秋田県知事免許 (9)1047号

本社/能代市昭南町7-1

TEL 0185-54-6518 FAX 0185-55-0750

不動産部/能代市昭南町7-1

TEL 0185-74-5044 FAX 0185-74-5043

峰浜本店/山本郡八峰町峰浜高野々字高野々43-1

TEL 0185-76-3493 FAX 0185-76-2186

秋田支店/秋田市八橋大沼町15-10

TEL 018-896-7773 FAX 018-896-7774

www.takajuu.co.jp

四季の語らい、
くつろぎのひととき。

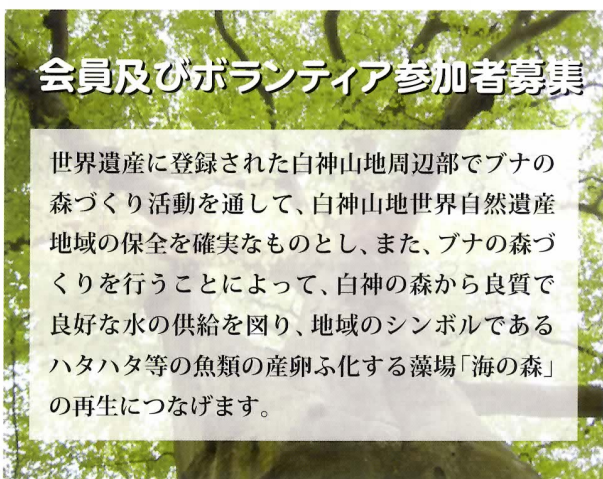


BANQUET ACCOMMODATION RESTAURANT
宴会・会議 宿泊 レストラン

アルカディア市ヶ谷 JR線・地下鉄(有楽町線・新宿線・南北線)市ヶ谷駅 徒歩2分
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25
TEL 03-3261-9921 FAX 03-3261-7760

NPO法人
白神ネイチャー協会

白神ネイチャー協会の活動内容、入会申込等につきましては、下記までご連絡ください。



会員及びボランティア参加者募集

世界遺産に登録された白神山地周辺部でブナの森づくり活動を通して、白神山地世界自然遺産地域の保全を確実なものとし、また、ブナの森づくりを行うことによって、白神の森から良質で良好な水の供給を図り、地域のシンボルであるハタハタ等の魚類の産卵ふ化する藻場「海の森」の再生につなげます。

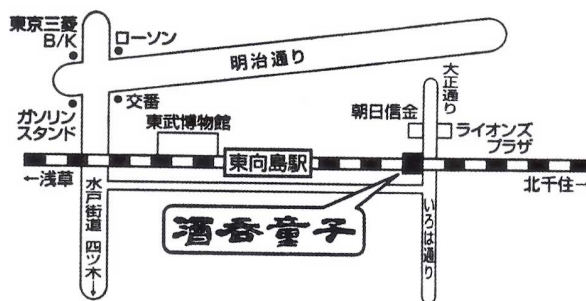
ブナ苗の里親を募集しています！！
白神山地 植えようブナを、育てようあなたの心
白神ネイチャー協会事務局

■TEL:0185-70-4211 ■FAX:0185-70-4214
■URL <http://www.shirakami.or.jp/~asna/index.html>

秋田料理

各種御宴会の
御予約承ります。

酒香童子
ひ てん どり び



〒131-0032 東京都墨田区東向島4-43-10
TEL.03-3619-1676

東武ホルモコ
サカイ食堂

東京都墨田区東向島2-15-3
TEL.03-3616-8929
<交通>東武伊勢崎線「曳舟駅」より徒歩1分

東武ホルモコとハイモコ
サカイ酒場

東京都千代田区東神田1-14-14
TEL.03-3864-5229
<交通>JR総武線「馬喰町駅」④出口より徒歩1分
都営新宿線「馬喰横山駅」A1出口より徒歩2分

地鶏 祝
サカイ島之助

東京都墨田区東向島2-11-21
TEL.03-3612-4129
<交通>東武伊勢崎線「曳舟駅」より徒歩2分

小物農機レンタル! (レンタル機につきましては、1日以上とさせていただきます。)

背負動噴霧用	1日3,000円	2台	溝切機	乗用、ほか	1日5,000円	2台	
動力散布機	粉と粒	1日3,000円	2台	管理機	耕巾500mm	1日3,500円	3台
エンジンポンプ	φ25mm	1日2,000円	3台	高速洗浄機	エンジン付	1日3,500円	1台
刈払機	背負・肩掛	1日3,500円	5台	発電機	100V・交流12A	1日3,500円	1台
チェーンソー	中 型	1日3,500円	3台	ウイングモア	φ700mm	1日4,500円	1台
ハウス用オーガー	φ35mm	1日3,500円	1台	スプレッター	手 押	1日2,000円	1台

農家のパートナー
小物農機・販売サービス **AV アシザキ NOUKI**
〒018-2504 山本郡八峰町峰浜石川字外林33-21 TEL・FAX 0185-76-2884

病院からもらった処方箋の事など、
お薬のことなら専門の薬剤師が丁寧に説明をいたします。



LINUS PHARMACY

ライナス薬局

TEL.0185-70-4160
FAX.0185-70-4170 八峰町八森字古屋敷13-6

月～土/朝8:00～夜7:00
休日/日・祝日

秋田・味めぐり一番所 はちもり



古来より、白神の里に伝わる伝承の味。
はたはたずし
秋田名物

(ハタハタ入り焼きかまぼこ・鱒ずし) 発送承ります!!

⊕ (株)鈴木水産

☎ 0120-022170 FAX 0185-77-3601

HPIは「鈴木水産 秋田」で検索!

<http://www.suzuki-suisan.co.jp/>

白神山地の天然湧水仕込だけで
酒造りを行なう全国で唯一の蔵元



白瀑

八峰町八森字八森269

TEL/0185-77-2311 FAX/0185-77-2312

ふるさとの味と香り、おいしさそのまま贈ります。



秋田名物 きりたんぼセット

地方発送
承ります

10月上旬から
2月下旬まで
発送いたします。

申し込みご予約は

TEL.0185-76-2529 FAX.0185-76-3156

〒018-2507

秋田県山本郡八峰町峰浜田中字大土面 17 レストラン 峰

昔懐かし、ふるさとの味

おやき



セキトの「おやき」は9月上旬から翌年3月下旬までの「季節商品」です。
八峰町へお戻りの際は、是非「焼き立て」をお召し上がりください。



味と心で ぐあいざつ

株式会社 セキト

www.sekito.net

●上町本店 〒016-0817 能代市上町12-2

TEL.0185-54-3131

地方発送のご注文はこちらへ

FAX.0185-54-2433

日本海と白神山地が出逢う宿

海の幸たっぷりのお料理とあったかい温泉で
心と体を癒してください



ご
宿
泊

- 美しい景色を一人占め
 - 特別な時間をゆったりと過ごす
- 八森いさりび温泉

ハタハタ館

ホームページ: <http://www.hatahatakan.jp/>

秋田県山本郡八峰町八森字御所の台51番地

TEL: 0185-77-2770(代)

地域と共に!



Panasonic エルポートシロキ

八峰町八森字中浜 TEL 77-2323・FAX 77-2324

♪～カラオケサロン～♪ みんなの 水沢

【営業時間】
昼(カラオケ) 正午～午後5時
夜(スナック) 午後7時～午後11時
【定休日】水曜日

能代市東町 3-1 田村ビル ☎0185-54-1770
笠原均・いさ子



♪皆様のご来店お待ちしております♪

子どもに夢を! 誇れる郷土を!
地域に活力を!

第29回雄島花火大会

8月15日打ち上げ(毎年)

雄島花火実行委員会

委員長 諸沢 英紀

世界遺産 白神山地の麓のゴルフ場



黒松林と日本海の風があなたのライバル

能代カントリークラブ

〒018-2507 八峰町峰浜田中字大土面18
TEL: 0185-76-3311 FAX: 0185-76-3009



東京駅八重洲北口改札から徒歩1分。駅構内に新開店!!
秋田比内地鶏生産責任者の店 **本家あべや**



東京駅北町ダイニング店
月～金 11:00～23:00 (L.O.22:00)
土日祝 11:00～22:00 (L.O.21:00)
〒100-0005
東京都千代田区丸の内1-9-1
東京駅八重洲北口2F
北町ダイニング内
tel: 03-6256-0518

◆本家あべや店舗のご案内◆

- | | |
|--|--|
| 【神楽坂店】 tel: 03-5225-2664
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂3-2-40 co&coビル1F | 【秋田店】 tel: 018-825-1180
〒010-0001 秋田県秋田市中通1-4-3 エリアなかいち1F |
| 【KITTE GRANCHÉ店】 tel: 03-6256-0822
〒100-7090 東京都千代田区丸の内2-7-2 JPタワー KITTE B1 | 【静岡店】 tel: 054-260-7095
〒420-0852 静岡県静岡市葵区紺屋町3-1 CROSSNINE 8F |

本券を所持いただくと秋田日本酒又はソフトドリンクを1杯サービス致します! ※他券併用不可

産地形成促進施設

「おらほの館」

旬の野菜がどっさり
地方発送も
いたします。



「新鮮・旬・野菜と特産の石川そば処」

〒018-2509
秋田県山本郡八峰町峰浜沼田字沼田ホンコ谷地147-6 道の駅となり
TEL・FAX 0185-76-4649
mail: orahonoyakata@shirakami.or.jp

白神の海と大地の夢を育む

白神八峰商工会

会長 大森 三四郎

TEL:0185-77-3161 FAX:3008
秋田県山本郡八峰町八森字中浜41-3



10周年記念 あわびの里づくりまつり

平成27年8月上旬開催予定

☆参加者には2年後に収穫に応じて
「あわび」をお送りします。

能代の食材で お・も・て・な・し

酒楽 こてらんこ KOTERANKO

藤岡 洋子 (能代市出身)



03-6803-0239


〒110-0015
東京都台東区東上野 1-19-2
第2鈴木ビル 1F

秋田料理
居酒屋 秋田おばこ

埼玉県川口市戸塚2-23-28
TEL. 048-294-1856

高沢すな (八峰町出身)

-支え合おう東北-
えがおのあなたが見たいから…

皆川薬局 

どちらの処方せんでもお受けします。

薬剤師 皆川鉄治・山脇一輝・北林真実
八峰町峰浜沢目駅前 TEL.76-2052・FAX.76-2199

営業時間 8:00~18:00 / 休業日 日曜日・祝祭日

白神山地から湧き出る天然水と、地元農家の青大豆のみを使用

 究極の美味 **グリーン豆腐**

従来の豆腐より栄養価が高く
ほんのり緑色で甘味があり、こくが深く、
美味です。

◇◇◇◇ 松岡食品 おかげさまで創業 66 年を迎えました ◇◇◇◇

〒018-2664 山本郡八峰町八森字古屋敷 43-3
松岡 清悦・松岡 清也
TEL 0185-77-2024 FAX 0185-77-3646
E-mail : info@matsuoka-foods.com



◆◆◆ 和洋菓子舗 ◆◆◆
八峰町のおみやげに


 **カステラドーナツ**  **チーズブッセ**

美味しいお菓子の店 **高峰堂**

八峰町峰浜塙字豊後長根145 TEL 0120-89-2041


営業時間 7:00~19:30 不定休

あふれる緑、大地と共に輝く未来

 **秋田やまもと農業協同組合**

本 店 〒018-2104 秋田県山本郡三種町鹿渡字町後 270
TEL:0185-87-4600(代) FAX:0185-87-4200
代表理事組合長 阿部 隆一


八峰支店 〒018-2503 秋田県山本郡八峰町峰浜塙字豊後長根65-1 TEL:0185-76-3151(代) FAX:0185-76-3959



 **八森鮮記行**

日本海の旬の魚
家庭へ届けます

0185-77-2255

 **八森鮮記行**

秋田県山本郡八峰町八森字横間 156 番地先
秋田県漁業協同組合
北部総括支所

第6回八峰町関東ふるさと会総会・懇親会

友人・知人をお誘いの上お気軽にお越しください

平成26年11月16日(日)開催

特別ゲスト

美神ひろし プロフィール



生年月日…昭和33年6月10日
出身地…八峰町峰浜小手萩
父が民謡をやっていた影響で、幼少の頃より民謡に親しみ、15歳の時に「秋田草刈唄」を唄い、NHKのど自慢で優勝する。その後、歌手に憧れ上京し、唄の勉強をしながらクラブ歌手でデビューする。

平成の着流し演歌の第一人者

大ヒットはないが、数々のスマッシュヒットを飛ばす。持ち前の高音と独特のこぶしは最高で、演歌、軍歌、民謡等幅広いレパートリーを誇り、抜群の歌唱力でファンを魅了している。



- ◆ 受付：11時00分～
- ◆ 総会：12時00分～12時30分
- ◆ 懇親会：12時30分～15時30分
- ◆ 懇親会費：6,000円
(学生は3,000円、小学生以下は無料)
- ◆ 年会費：1,000円



◆ 会場：アルカディア市ヶ谷
〒102-0073
東京都千代田区九段北4-2-25
03-3261-9921(代表)

- 地下鉄有楽町線・南北線
市ヶ谷駅 A1-1 出口
- 地下鉄新宿線 市ヶ谷駅
A1-1 または A4 出口
- JR 中央線(各駅停車) 市ヶ谷駅

上記各出口から徒歩約2分

駐車場は使用出来ませんので、JR/地下鉄をご利用ください

八峰町関東ふるさと会・役員一覧

会長：神馬 信一
副会長：麻木 固磨、内山 由子、
北郷 洋子、信太 吉右エ門、
戸田 真里、福田 稔、干場 革治
幹事長：成田 勘一
副幹事長：船越 鉄実、芹田 忍
幹事：大久保 澄子、黒浜 茂子、
白木 仁、丹波 テツ子、
本多 義春
監査：菊地 弘美、鈴木 輝志郎
顧問：加賀谷 光丸、富岳 智猛、
藤田 秀夫、秋山 芳輝

発行：八峰町関東ふるさと会
発行責任者：神馬 信一
編集委員：成田 勘一、北郷 洋子、丹波 テツ子、芹田 忍

八峰町関東ふるさと会事務局
〒184-0001 東京都小金井市関野町一三三三五 成田 勘一方
TEL/FAX 〇四二二三八三二〇二七八

編集後記
お蔭様で、第五号の会報発行となりました。毎年のことながら、ふるさと会に、温かいお心を寄せて下さる八峰町町長、ならびに、議長からのご寄稿を頂き、感謝の念でいっぱいです。
又、会員の皆様からのご投稿は、何よりも嬉しいことでした。故郷を懐かしく想う気持は、歳を重ねるにつれ、ますます深くなることを痛切に感じる今日この頃です。
来年度のご投稿を楽しみに、お待ち申し上げます。皆様のご健康とご多幸をお祈りして…(北郷)

事務局からのお知らせ
ふるさと会事務局では、幹事になって頂ける方を募集しています。事務局までご一報頂ければ幸いです。総会には多くの皆さんが参加する事で盛り上がります。ごご今回もごぞって参加くださる事を心からお願い致します。